



なぜ夢洲なのか。――工場用地に乏しかった大阪では、用地確保のために1958年から大阪湾岸の埋め立てを始め、しかし、重化学工業の誘致に失敗。商業用地や住宅用地として活版を見出さず、「テクノポ

### 異議あり！カジノ誘致 行政の「無能力さ」象徴

万博誘致の狙いは、府・市は波及効果を生み出す。2・8兆円と主張するが、地域振興としては疑問だ。府は会場建設費に1500億、1600億

博」運営費に900億円程度を見込んでいた。半年間で220万人の来場を当て込み、万博で展示した商品やサービスを5年にわたって買い続けようという計画だ。



上：整備が検討されている鉄道路線 下：カジノを含むIRのイメージ（関西経済同友会の提言から）

Table with 2 columns: Year and Event. Title: 大阪湾岸開発の顛末. Rows include 1958 (oil refinery), 1967 (chemical refinery), 1972 (Mitsubishi plant), 1982 (waste treatment), 1983 (Technoport Osaka), 1994 (Asia Pacific Trade Center), 1995 (World Trade Center), 1999 (Mitsubishi bridge), 2000 (Sea of Tomorrow Museum), 2001 (bridge collapse), 2004 (WTC/ATC financial institution), 2008 (panel bay concept), 2009 (Mitsubishi tunnel), 2012 (charcoal plant), 2013 (Sea of Tomorrow Museum closure), 2015 (bridge mayor's statement).



海の時空館 253億円. 輝ヘッドの正体を桜田教授に尋ねると、「なにわの海の時空館」で建設した。オープン当初から入場者が低迷。13年に閉館し、廃墟化した。



# 徹底解説！ 湾岸開発「負の遺産」



大阪府咲洲庁舎 1193億円. 最初に向かったのは大阪府咲洲庁舎。総事業費1193億円の旧大阪ワイルドトレードセンター(WTC)ビルだ。

## 赤字続く「お荷物タワー」

建物ですと桜田教授。ビルに入る、エントランスにある案内板が目につく。展示台が上がると、さすかに見晴らしが良い。甲山や明石海峡大橋まで見渡せる。桜田教授が北西を指差し、「あれが夢洲です」と教えてくれた。



夢洲 3349億円



夢舞大橋 635億円

回さないのに巡回橋. 「咲洲・夢洲間に航行できなかった。大型船舶が通れるように橋を巡回させる仕組みです。約20年経ちますが、そんな事態は一度もありません。

## 無計画に埋め立て続く

夢咲トンネルを抜ける9億円。埋め立てが完了したのは4割に過ぎない。この土地には何が埋められているか知っていますか？と桜田教授は、荒れ果てた大地が広がる。本当にこんな場所にカジノを建てるつもりなのか。見渡している、原っぱの一面にラジコンヘリを飛ばす愛好家たちの姿があった。人のいない広大な人工島は格好の練習場だった。

## はかなく散った“夢の跡”



ゴミ処理工場 609億円

夢洲から車で1分、舞洲の北東にカナルでメルヘンチックな建物が見えた。この正体は市のゴミ処理工場。ウィーンの芸術家手がけた。テーマは「自然との共生」だが、周辺は無機質な物流倉庫が並び、奇抜さが際立つ。

## 大金費やし無人島結ぶ



夢咲トンネル 1060億円

「海の時空館」を離れ、夢洲に向かう。鉄道は無い、海底で夢洲と咲洲を結ぶ「夢咲トンネル」を通る。片側2車線、長さ3800m。耐震基準は満たしているというが、津波が来たら水没するとの心配があった。